



希望のぞみ

胃ろう交換で入院したはずなのに…

第4弾

ここ最近『ケアホーム希望』の利用者数名が、胃ろう交換で入院すると、帰らぬ人となって退院してくる例が少ないない。

新型コロナウイルスの感染防止のためと、家族も面会ができず、病院でどのような状況で悪化したのかは、最後の最後になって面会が許され、主治医から説明される。

前回号で紹介した Kさん 77歳は、胃ろう交換で入院したのに、誤嚥性肺炎、尿路感染、敗血症で亡くなってしまった。

胃ろう交換で入院する前は、元気に歌を歌ったり、通帳管理をしていたため、毎日計算問題を必死に行っていた。隣の利用者 Tさん92歳は、いつも計算問題の採点をしていていた。

『ケアホーム希望』のサービスを利用して5年。口から食べものが通らなくなる難病になり、胃ろうを造設。食べることが大好きだった Kさんにとっては、とても苦痛だったろうに…。

ある時は、入れ歯洗浄剤を飲み込んでしまい、救急搬送され、生死をさまよったが、夫のことが心配で、無事に生還した。

夫は持病もあり、時々介護疲れから夫婦喧嘩もしたけれど、他人からみてとてもいい夫婦だった…。どちらが欠けても生活ができない夫婦2人だけのそれぞれの役割がきちんとあった。

入院して7日後の夜、夫より連絡があり「妻が肺炎になったので退院が延期になった」とのこと。

その10日後の夜、突然病院から、Kさんの血圧が急に低下したとの連絡が夫に入った。私たちも心配で急いで病院へ駆けつけた。面会は家族のみで、「とりあえず治療で血圧は持ち直した」と、夫から聞いたので家族も私たちも安心して自宅へ帰った矢先…

夜中に再び夫から連絡があり「亡くなったんだよ…」と。

私たちは耳を疑った。さっき面会に行き、落ち着いたと言っていた矢先の連絡だった。夫は茫然と息子たちと亡くなった妻を迎えに行った。

なぜ、胃ろう交換の入院で亡くなってしまうのか…？

職員はもちろん、愛されキャラだった Kさんが亡くなったことは利用者さんたちからも悲しみの声が溢れている。

天国で安らかに、そしていつまでも

大好きな夫を見守っててくださいね。



大好きな 美空ひばり
熱唱中!



ただいま採点中…



享年77歳

我が家に勝るものはない！



本当に帰って来て良かった嬉しい(涙)



お母さん おかえり～ 本当に帰ってこられて良かったよ！嬉しい...

やっぱり自分家はいいね！(笑)

ペースメーカーの電池交換で入院したら誤嚥性肺炎となり100日後に退院。

『ケアホーム希望』で42日間帰宅に向けて体調を整え143日ぶりに帰宅できました！

やったね！



おお～！ やっと明日我が家に帰れるぜ！



お父さん おかえりなさい！ 大好きな家に帰ってこれて本当に良かったね！



ありがとう... これからもお元気で...



Hさん 84歳 要介護5
これまでご主人が献身的に介護をして、夫婦二人で在宅生活を送っていましたが2ヶ月前夫の持病が悪化し他界。今月より療養型病院への入所が決まったので、お別れ会をしました。

いつまでも笑顔のステキな Hさんでいてね。



これまで本当にお世話になりました。皆さんとお別れするのは寂しいけれど、いただいた色紙とひざ掛けは大事に持って行きます。私のことも忘れないでね。

のぞみ 日誌 希望

100歳になるお母さまの介護をする息子さんから『ケアホーム希望』を利用して、今想うことをお聞きました。

『ケアホーム希望』のサービスを利用して約3年半。利用開始当初5ヶ所もあった褥瘡は治り、今も再発なく経過していることに大変感謝しています。そして何より日々の生活に欠かせない食事や水分、排泄の管理などをしてもらい、具合が悪い時にはすぐに家にも来てくれて、家族としてはとても安心しています。母の介護をしている私が病気で入院したときには「泊まり」のサービスが利用でき、とても助かりました。高齢であり、日々体調の変化があるかと思いますが、まだまだ元気に過ごせるよう、医療と介護がより良い連携を図り、更なるサービスの向上に努めてほしいと思います。

厚生労働省は、今年100歳以上の高齢者の数が初めて8万人を突破したと公表。そのうちの88.2%を女性が占め、日本の長寿化は女性がけん引しています。

息子たちの世話にはなるけどまだまだ長生きしたいな



大正10年生まれ